



# 西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

令和4年4月8日

NO.1 (60号)

横浜市立義務教育学校  
西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

## 令和4年度を迎えて

校長 梅澤 薫

4月より西金沢学園に赴任しました梅澤 薫です。西金沢学園は義務教育学校として6年目を迎え、さらなる教育活動の充実を目指してまいります。保護者及び地域の皆様には、昨年度同様学校への変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

日に日に春らしさを増すようになった中、4月7日に実施した入学式及び進級式において新入生 67名、進級生 55名を迎えることができました。新入生・進級生ともにしっかりと式に臨み、そのまなざしは大変印象に残っています。始業式で初めて会った各学年の児童生徒からも新しい年度のスタートを迎えたすがすがしさ、前向きな気持ちをとても強く受け取りました。9つの学年が共に学ぶ義務教育学校であることのメリットを最大限にいかし、教職員とともに子どもたちの成長、健全育成に努めてまいりたいと思います。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応を取りながらの教育活動となり、学校にかかわるすべての皆様に対しても、通常とは異なる制限等などをお願いすることも続くと思われまます。このことにつきましても引き続きご理解いただきますようお願いいたします。

ところで、西金沢学園への赴任となったことについて、わたくし自身大変深い思いとともに縁を感じています。今では、今年開校した緑園義務教育学校を加え横浜市内に3校の義務教育学校が開校しており、その他の小中学校ブロックにおいても小中一貫教育取り組むことが普通のことになっています。しかしながら、小中一貫教育について議論が交わされ、横浜市でその取組の方向性が定まったのは15年ほど前にすぎません。そのような状況の中、私自身まさに本校が小中一貫校となる前の一年間、教育委員会の小中一貫校担当者として当時の西金沢中学校、釜利谷西小学校に携わらせていただいていた。当時、2校は小中一貫校として新たに開校することは決定していましたが、その教育内容や学校としての取り組みなどは未定な部分が多く、多くの関係者とともに先生方への研修会を実施したり、先生方と議論を重ねたりしながら開校までの一年間、支援に当たらせていただきました。その後担当業務からは離れたこともあり、本校にかかわる場面はありませんでしたので、この度の赴任に関しては驚きと喜びを感じているところです。

小中一貫教育の考え方や重点項目などは学校の実態に合わせ、幾重にも変遷をたどっていることと思います。小中一貫校、義務教育学校としてのこれまでの貴重な歴史を踏まえ、子どもたちと共に様々なことを深め、広げていきたいと考えています。

9つの学年がそれぞれの成長を重ね、伝統としてつながっていくことにより、子どもたちや学校はどのような姿となるのでしょうか。また、そのことが我々教職員や保護者の皆様、そして地域の皆様にとってどのような喜びを与えてくれるのかと考えると楽しみでしかたがありません。そのようなことを考えている令和4年度の始まりです。改めまして、皆さんどうぞよろしく申し上げます。